

SL「C11 325号機」による 単機けん引運転のお知らせ

東武鉄道株式会社

東武鉄道では、SL大樹の「単機けん引運転」を2021年1月17日（日）から「C11 325号機」の運転により実施します。

SL大樹開業当時より、日光・鬼怒川エリアを運行しているSL「C11 207号機」は長期的な定期検査に入ることから、期間中は「C11 325号機」のSL編成による単機けん引運転を中心に行います。なお、SL大樹「ふたら」運転日には、補機としてDLが連結します。

また、同期間中は、当社単独でSL機関士を養成できる体制が整ったことから、SL機関士として必要な知識や技能の習得を図る自社養成を実施し、SLの複数機運転に向けて、要員面での安定的な体制を整えてまいります（自社養成の詳細については[こちら](#)をご覧ください）。

詳細は以下のとおりです。

1 運転期間

2021年1月17日（日）から2021年5月頃まで

※2021年のSL運転日は[こちら](#)をご覧ください。

2 編成内容

SL・車掌車・客車3両編成

（編成予定図）



※SL大樹は、日常的に安全運転に必要な点検を実施し、運転当日には出発前の点検を行い安全運行に努めておりますが、それらの点検の際に異常が確認された場合には運休もしくはDL大樹による代替運転となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



△昨年度C11 207号機の単機けん引運転の様子
（イメージ）

以上